

発行 矢沢地域振興会(矢沢振興センター)内 電話29-5480 印刷 トーバン印刷株式会社

# やまぼろし

No. 40  
2022年6月1日  
mail : yashinkai025@gmail.com

### いあいせい

矢沢地域振興会

会長 中島 健次



このたび再任されました。皆様のご支援ご

協力をよろしくお願い申し上げます。一期目はコロナ禍に翻弄された2年間でした。その中にも関わらず関係団体の取り組み、地域の皆さんの協力により、安全安心の地域づくり、住環境の整備、地域福祉の充実などを推進することができました。

もちろん矢沢地域にも課題が多くあります。人口、世帯数は増加傾向にあります。共助の基本である地域の住民同士が支え合う地域自治をどう維持構築していくか、高齢

化社会への対応、教育環境の充実、年々増大する空き家も大きな課題です。また、これまで長年、継続により維持されてきた地域の伝統行事、民俗芸能もコロナ禍で中断の状況にありこれを再開することも大きな課題です。

また地域振興会の分野である生涯学習の充実促進も重要です。コロナもなかなか終わりの見えない状況ですが、工夫を凝らし安全に万全の配慮し事業を実施していきたいと考えております。

微力ですが、住みよい地域づくりのため先頭に立って頑張りたいと思います。今後とも地域の皆さんのご協力をお願い申し上げます。



## 東十二丁目の景観作物

島地域環境保全の会

事務局長 畑福 安一

平成19年に農地・水・環境保全制度(多面的機能支払制度)が始まったころ、今毎年花を咲かせている県道(当時)脇の田んぼは約20aの柳が生い茂る遊休農地でした。不在地主の方からこの田んぼお借りして、地元有志9人が2年掛りで抜根、焼却、除草、石拾い、耕起を行いこの制度を

利用して最初にコスモスを咲かせたのが平成22年の秋でした。それ以来毎年コスモス、菜の花、そばの花、ひまわりなどを咲かせて道行く人たちに楽しんでもらっています。種まき、草刈りなどの作業をしていただいている有志の方々も高齢化と人数の減少とでしんどいとぼやいています。今年も菜の花の次にはひまわりを咲かせようと頑張っています。8月頃には咲くと思いますので是非、観てあげてください。



場所は島バイパス北上市境の少し北側の市道脇です。

## わがスポーツ少年団

### 矢沢STCソフトテニスクラブ

矢沢STCは2018年7月に発足したソフトテニススポーツ少年団です。

現在の団員数は18名(男子6名、女子12名)在籍しており矢沢地区に限らず花

巻市内のいろんな地区からも多数入団していただき活動しています。指導はインターハイ出場経験のある指導者を中心に行っており、主に毎週水曜日18時半〜20時(花巻中学校)、日曜日9時〜12時(矢沢中学校)週2回で活動しています。冬季期間は市内体育館で週2回実施して

います。

『元気に楽しく』を motto に団活動を通じてソフトテニスに親しんでもらい、必要なルールの習得、技術、基礎体力の向上を図り、今後の活動に活かせるよう指導しており、卒団した子ども達の活躍も指導者一同、

楽しみにしています。

矢沢STCでは随時団員募集しております。見学・体験希望の場合はお気軽にお越しください。(インスタグラムで活動内容がご覧になれます『yasawa\_stc』で検索)

矢沢STC 代表 阿部 雅志





各種団体代表者のご挨拶

矢沢観光開発協議会

会長 福盛田 弘



矢沢地区の皆様今年度も、宜しくお願いします。

観光開発協議会は、観光事業の振興を図り、産業、経済、文化の発展に寄与することを目的に活動致しております。

今年度の事業はタウン誌やさわ第39号の発行、矢沢地区内の史跡、名勝地、神社仏閣等地図に写真と説明文を掲載し観光ガイド冊子を発行する計画を進めています。また、タウン誌発行にあたり取材の協力と貴重な写真、民具、農具等の記録保存を引き続き計画しています。皆さんからの資料、情報の提供をお願いいたします。

矢沢地区教育振興協議会

会長 小原 久一



皆さんの後を受けて会長を引き受けました。関係各位の皆様のご協力、ご理解を賜り教育振興に努めたいと思います。

20年ほど前にPTA会長として、また二度の副会長を経験しましたが、矢沢地区の生

活環境の変化に伴い学校、教育環境も変わり時代に即した対応が求められております。子ども・家庭・学校・地域・行政が一体となって地域の教育力の向上を図ります。

丈夫な身体と豊かな心を持ち人と故郷を愛し、たくましく生き抜く子供の育成を目標に、「美しく、正しく、逞しい生活の実践」をテーマに取り組みます。皆様の協力をお願いします。

花巻市社会福祉協議会矢沢支部

支部長 佐藤 和見



私達、社会福祉協会は「誰もが安心して暮らすことが出来る地域づくり」の実現に向けて、関係する地域の皆さんのご協力をいただきながら、活動を行っております。

コロナ禍により敬老会やふれあいサロン、福祉懇談会等集合型の事業は2年連続してできませんでしたが、工夫を凝らしながら本年は何としても開催したいものです。過日、地域福祉の向上を図るため、「やさわのふくし」を実施いたしました。その結果多くのご意見をいただき福祉課題の多さを実感致しました。今後はそれら課題解決に向けて、関係機関と連携を取りながら支部活動を推進したいと思

思いますので、皆様のご協力をお願いします。

矢沢地区体育協会

会長 鴨澤 立治



新緑の候、日頃より皆様からのご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによる各種スポーツ大会やイベント等が中止または延期となる状況より3年目の時が流れようとしております。ワクチン接種の普及や三密を避け基本的な感染症対策の励行により少しずつではありますが、減少の域に達しつつあると感じております。

今年度は、各種競技の地区大会や市民大会も復活、開催して大いに活気溢れ賑わいのある事業を展開したいと思っております。盛り上がりには皆様のご理解ご支援が不可欠であります。今後とも、地区民の健康・体力向上を目指し交流・親睦を図り推進する所存ですので宜しくお願い致します。

花巻市防犯協会矢沢支部

支部長 多田 章



この度の役員改選におきまして、図らずも支部長を仰せ

した。何分にも経験も少なく非力でございます。皆様のご支援ご協力をいただきながら、隊員の皆様と共に地域の安全・安心なまちづくり推進のため、少しでもお役に立てればとの思いで務めさせていただきます。どうか皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

矢沢地区公衆衛生組合協議会

会長 谷川 勝志



日頃から花巻市の生活環境課と連携して事業を進めて

おり、当協議会の事業に矢沢地区民の皆様方のご協力に感謝申し上げます。特に、当協議会の事業であります矢沢地区一斉清掃(今年度は8月7日)には、地区の皆様方の参加をお願い致します。今年度は、地区民皆様方の活動に対する傷害保険について、改革を行いたいと思っております。行政区長並びに関係者各位様のご協力をお願い致します。

矢沢地域環境対策協議会

会長 谷川 勝志

故多田会長の後任で会長職を引き受けました。矢沢地区公衆衛生組合協議会も兼務することになりました。矢沢地域環境対策協議会という広範囲な協議会は、地区の環境対

策について、特に岩手化成油脂協同組合の環境汚染(悪臭)について、当面取り組んで参ります。矢沢地域振興会、行政区長並びに関係各位の皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

花巻地区交通安全協会矢沢分会

分会長 大森 松司



長い間、当地域の交通安全活動の先頭に立た

れ、緻密に効果的に、そして献身的に取り組まれて、それら前分会長佐藤和見様には心より敬意を表します。佐藤様には足元にも全く及びませんが、前分会長並びに諸先輩のご助言を頂きながら、矢沢地域の交通安全活動に微力ながら取り組んで参りたいと思っております。さて、今年度の、特にも当地域における交通安全活動の基本は、「高齢者と子どもの交通事故防止」ということとなります。それを踏まえ、数々の運動を地域のみならず、数々に展開し、個々の意識の高揚を図りつつ、「交通ルールの遵守」のもと、交通事故ゼロを目指して行きましょう。





# 小学校コーナー

## 入学式

4月8日、新一年生59名の入学式が行われました。昨年同様コロナ感染予防対策により規模を縮小しての開催となりましたが、先生の呼びかけに対する子ども達の元気な返事に今後の学校生活の意気込みを感じました。新一年生を迎え、全校生徒365名の矢沢小学校の令和4年度がスタートしました。



## 交通安全教室

4月12日・19日には、交通安全教室が行われ、自転車の



ルールや道路を歩く時の約束などを学びました。指導していただいた矢沢駐在所職員様、交通指導員・交通安全母の会の皆様ありがとうございました。また、日頃より、スクールガードの皆様、地域の皆様には、子ども達の登下校を見守って下さり大変感謝しております。どうもありがとうございます。今後も子ども達の安全のためにも、ご指導や挨拶等のお声掛けをよろしくお願いいたします。

まだまだ、先の見えぬコロナ禍ですが、学校行事を楽しみにしている子ども達の気持ちを思うと、様々な規制や自粛が一刻も早く解けることを心から願っています。

# 中学校コーナー

## 令和四年度

## 順調にスタート

## 入学式

4月7日(木)

男子30名、女子29名、計59名の新入生が入学しました。厳粛な雰囲気の中、新入生誓いの言葉を斎藤悠さんが、歓迎の言葉を生徒会長小松唯花さんが堂々と述べました。呼名の場面では元気に「はい」と返事をし、59名一人一人のやる気を感じることができました。



1年A組



1年B組

## 東北中学校選抜

## ソフトボール大会

4月30日(土)・5月1日(日)

岩手県代表として福島県で行われた東北選抜大会に出場しました。

○一回戦

矢沢中9―3川西中(山形)

○準決勝

矢沢中15―2

田島・湯川中(福島)

○決勝

琴丘中(秋田)5―1矢沢中

【矢沢中は、準優勝】

## 盛岡市内一周継走

4月17日(日)

快晴のもと、盛岡市内一周継走大会女子の部に、本校の精鋭が参加しました。結果は30位(80チーム出場中)と全員が好走し、素晴らしい結果を残しました。



写真は14日の壮行会で激励を受ける選手





わが同好会の紹介⑭  
社交ダンスどんぐりの会

責任者 澤田 順子

過去に60歳を過ぎた若かりし頃、仕事からも手を引き友人と社交ダンス教室へ通い、運動の為に動き始めて15、16年経った頃、その教室が引越され、自然と遠ざかり現在に至りました。

たまたま矢沢振興センターで過去にいくらかでも社交ダンスらしき事を行った方々の集まりで仲間を誘い現在に至りました。

30数名で思いいいパートナーと組んでそれなりに楽しんでおります。

週1回月曜日午前10時から12時まで、あつという間の2時間ですが、雑念から解放され夢中になるひと時です。

先生を頼んでおりませんのでお金はかかりません。入会時冬場の暖房費とか中間に飲むコーヒー代として一律千円を頂戴していますので普段は無料です。今の世の中お金をかけないで楽しむなんて、こんな素晴らしい時間はありま



せん。  
無駄口無し、ひそひそ話も無し。仲良く明るく元気で、長く続けたいものだと願っています。

私のひとこと

矢沢学童クラブ  
主任 工藤 望

子ども達を真ん中に



「ただいまー！」と今日も子ども達の元気な声が響き渡る学童。

学童は第二の家庭であり、一緒に過ごす子ども達は「昼間の兄弟」と呼ばれています。異年齢の子ども達と一緒に遊んだり、宿題をしたり、行事を楽しんだり、そして時にはケンカをしました。学童の現場は毎日様々な出来事が生まれ、私達支援員も一緒に共有しています。

今年度、矢沢学童クラブ

は24名の新1年生を迎えました。この時期は、新1年生だけではなく、2年生以上の子も達も新しい環境に慣れようと頑張っているところ。学童では縦割りのグループがあり、一斉活動を行う際はそのグループで活動をしています。上級生がグループのリーダーとなり、下級生のお世話をするのは学童ならではの活動です。なかなか上手いかないこともありますが、自分達ができるようになってきたことを下級生達にしてあげたり、自分でどうすれば良いか考えたり、子ども達は日々様々な成長を見せ、そして学童の先輩達からもらってきたものを後輩達へと伝え続けてくれています。



方々のご理解、ご協力があったからこそ実感しています。近年はコロナウイルス感染症対策のため、様々な行事等が中止または規模縮小となりました。そのような中でも、子ども達のために「とくさんの工夫をして下さり、楽しませていただいています。」  
これからも子ども達を真ん中に置き、健やかな成長を保護者や地域の方々と共に見守っていきたく思います。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

【編集後記】

新型コロナウイルス感染が拡大してすでに3年となります。当初は新型コロナウイルスがどんな感染症なのかも解らず、病気に対する恐怖心が人々の行動を制限していました。感染も2年位で収束するだろうと思われていましたが、収束どころか今や感染者が岩手県でも1日2000人を超えている状況となっています。特に小中学生・園児等の低

年齢層への感染拡大が進んでいて、学校の行事・地域の行事が益々制約されている状況です。

「やまぼうし」も地域の情報発信という役割を果たせず、苦慮している処です。

これからも編集スタッフ一同、ウイズコロナを意識して、情報収集を行い皆さんに伝えていきたいと思っていますので皆さんのご協力、宜しくお願致します。

(松田 好隆)

編集委員

- 広報委員長 古川 洋一
- 副委員長 松田 好隆
- 広報委員 高橋セキ子
- 多田 英治
- 佐藤 信一
- 澤柳 健一
- 平澤 晋
- 佐藤 寿子
- 浅沼美紀子
- 矢小副校長
- 矢中副校長